

企画展
Special Exhibition

和歌 萬華鏡

万葉集から折口信夫まで

平成 31(2019)年

4.27(土)

↔ 6.23(日)

前期 4月 27 日～5月 26 日

後期 5月 28 日～6月 23 日

*Various Charms of Japanese WAKA Poems
—History of Communicating Waka Poems*

[会場] 國學院大學博物館 企画展示室

[会期中休館日] 4月 29 日～5月 2 日、5月 27 日

[開館時間] 10:00～18:00
(入館は閉館の 30 分前まで)

Kokugakuin University Museum Special Exhibition
Apr. 27 Sat - Jun. 23 Sun, 2019

[Close : Apr. 29 to May. 2, and May. 27]

Hours: 10:00-18:00

[Last Admission 17:30]

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

和歌を守り伝えた人々と書物

みどころ

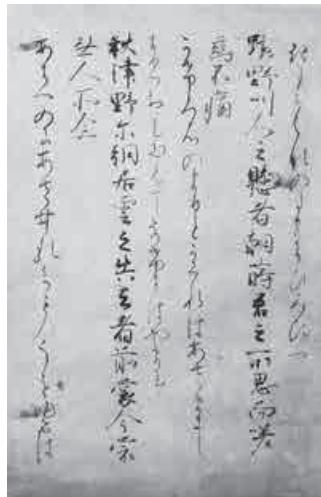
「和歌をよむ」行為の意味を歌人・国学者たちの言葉から探る。

花が咲けば喜しく、散れば悲しい。月を見れば恋しい人を思い、暁になれば逢えないことを歎く。

花鳥風月に美しさや懐かしさ、恋しさを感じる心は、人に自然と備わったものかのように思えます。しかし、そのじつは先人たちが守り伝えた日本文化によって醸成されてきました。この我々の感情を作りだした文化の一翼を担つたのが和歌です。和歌の文化は、詠む、書く、学ぶ、という行為により生成・展開され、世々の歌人によって連綿と伝えられてきました。

本展示では、古代から近代に至るまでの歌書を通して、和歌の魅力を再発見していきます。歌書の書体の流麗さや雅やかな装釦からは、当時の和歌に対する想いが伝わってきます。ただし、その魅力は時代や人により様相を異にし、通り一辺倒のものではありません。また、光の当て方が変われば、違う魅力も見えてきます。

『万華鏡』のように輝く和歌文化のありさまをお目にかけます。



『新古今和歌集』 伝源親行筆本より

主な展示資料

- ・『古今和歌集』 建長八年寂恵奥書本
- ・『金葉和歌集』 伝藤原為家筆本
- ・『新古今和歌集』 伝源親行筆本
- ・『風葉集抜書』 ・『源氏物語』 花宴
- ・伏見天皇宸筆御和歌集断簡
- ・『古今集遠鏡』 本居宣長自筆本
- ・折口信夫和歌関連資料
- など

春舞下



國學院大學博物館 Kokugakuin University Museum

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 [國學院大學渋谷キャンパス内]
TEL: 03-5466-0359 WEB: <http://museum.kokugakuin.ac.jp/>

開館時間 10:00 ~ 18:00(入館は閉館の30分前まで)



会期中休館日 4月29日~5月2日、5月27日

アクセス

【渋谷駅から】 渋谷駅から徒歩約13分 都営バス(渋谷駅東口バスターミナル54番のりば)学03日赤医療センター前行「国学院大学前」下車

【表参道駅から】 表参道駅(地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線)B1出口から徒歩約15分

【恵比寿駅から】 恵比寿駅(JR山手線・地下鉄日比谷線)から徒歩約15分

【都営バス】(恵比寿駅西口ロータリー1番のりば)学06日赤医療センター前行「東四丁目」下車

申込不要!

第一回 講師: 荒木優也 (國學院大學客員研究員)
日時: 5月25日 (土) 14時 ~ 14時45分

第二回 講師: 荒木優也 (國學院大學客員研究員)
日時: 6月1日 (土) 14時 ~ 14時45分

第三回 講師: 渡邊 卓 (國學院大學准教授)
日時: 6月15日 (土) 14時 ~ 14時45分

場所: 國學院大學博物館ホール

申込方法

WEB

申込フォームよりお申込みください。
國學院大學博物館ホームページ → 企画展「和歌万華鏡」
↓ 関連イベント → 申込フォームから送信

※提供いただいた個人情報については、本イベント以外の目的では使用いたしません

ハガキ 往復ハガキに左記「記入の上お申込みください。」

①郵便番号 ②住所 ③氏名 (フリガナ) ④電話番号 ⑤「和歌万華鏡」
辰巳正明 國學院大學 名譽教授
「折口信夫から万葉集へ」
▼國學院大學 渋谷キャンパス 常磐松ホール
※定員になり次第〆切

4月1日より
申込開始!

▼5月11日 (土) 14時 ~ 15時 定員: 250名

■講演会

関連イベント 無料

